



「現場に学ぶ医療福祉倫理」

「医療を変える・福祉を変える・現場から変える」
公開講座2010年後期乃木坂スクール



産婦人科領域の 倫理と非倫理 内部告発という名の ボランティア

金沢大学附属病院産婦人科 打出 喜義



① 右から代表の永井さん、中医協委員の勝村久司さん、熊本大学医学准教授の桑和彦さん、スクリーン中央に写っているのは、事故で亡くなった永井さんの夫人。

封建的な風土が残る医療の世界では、このような事件は絶えません。二〇〇六年四月十五日、東京で催されたシンポジウム「本当のことを知るのがなぜ難しい？ 患者と医療者が手をつなぐためにすべきこと」(写真①)のきっかけになった事件も、そうでした。

医療の良心を守る市民の会のホームページは、こう呼びかけています。

「二〇〇五年十一月、驚くべき判決が東京高裁でありました。日本医大であこの骨つき

患者にとって利益にならない薬の臨床試験を患者に無断で行い、その後、その女性患者が亡くなったことをめぐる裁判で、患者側に立って証言しようとした打出さんが、上司の教授から退職を迫られたり、嫌がらせをされている、守ってほしいと訴えたのです。

しかし、役所からはナシのツツテです。

■「本当のことを知るのが、なぜ難しい？」

手術を受けた二〇歳の女性が、手術後まもなく亡くなりました。『ワイヤが脳に刺さる事故があったのに伝えることができなかった』と遺族に告白し、謝罪した医師の行為が、医大への名誉毀損だとされたのです。この判決は多くの問題を私たちに投げかけています。

- ・愛する人がなぜ死んだのか知りたい、という家族の思いが叶わない現実。
- ・医療者同士でさえも素直に話し合えない独特の文化ゆえ、患者に本当のことが言えなくなってしまうという現実。
- ・医療裁判には、限界があるという現実。
- ・このままでは患者と医療者が歩み寄れないという現実」

告白した医師は、自身の子の成長を見るにつけ、娘を失った両親の気持ちが悪われ、謝罪したかったのです。遺族は病院から「手術や治療に問題はない」としか説明されず、悩み苦しんできました。医師の謝罪は、長年

「内部告発」という名のボランティア

■身の危険を覚悟のボランティア

「内部告発者」と呼ばれる人びとは、「究極のボランティア」ではないかと、私はひそかに思っています。

ボランティアはもともと「義勇兵」「志願兵」という意味でした。福祉のボランティアは、ふつう、感謝されるだけです。内部告発ボランティアは、志願兵同様、わが身に危険がふりかかることを覚悟しなければなりません。組織から追放されたり、村八分にされて孤独

に追い込まれ、自ら命を絶つことさえあるのです。

そんな内部告発者を守るという法律が、海外にない、日本でも二〇〇六年四月、施行されました。公益通報者保護法、組織内での不正行為などの公益通報をした人に対する報復的な人事などを禁じるはずの法律です。

この年の四月二六日、金沢大学付属病院産婦人科講師の打出喜義さんと、同法学部教授の仲正昌樹さんは、厚生労働省に「公益通報者保護」の上申書を提出しました。



「現場に学ぶ医療福祉倫理」

「医療を変える・福祉を変える・現場から変える」
公開講座2010年後期乃木坂スクール



産婦人科領域の 倫理と非倫理 内部告発という名の ボランティア

金沢大学附属病院産婦人科 打出 喜義

これからの 「正義」の 話をしよう



9784152091314



1920010023006

ISBN978-4-15-209131-4

C0010 ¥2300E

定価(本体2300円+税)

早川書房

「ハーバード白熱教室」
NHK教育テレビにて放送中
(2010年4月4日～
毎週日曜18:00～19:00)

いまを
生き延びる
ための哲学
マイケル・サンデル
鬼澤 忍=訳

Amazon
本のベストセラー
第1位
(2010/5/24調べ)

宮台真司氏
推薦!

これが、ハーバード大学史上最多の履修者数を誇る名講義。

1人殺すか5人殺すかを選ぶしかない状況に置かれた際、1人殺すのを選ぶことを正当化する立場が功利主義だ。これで話が済めば万事合理性(計算可能性)の内にあると見える。ところがどっこい、多くの人はそんな選択は許されないと現に感じる。なぜか。人が社会に埋め込まれた存在だからだ——サンデルの論理である。

彼によれば米国政治思想は「ジェファソニズム＝共同体的自己決定主義＝共和主義」と「ハミルトニズム＝自己決定主義＝自由主義」を振幅する。誤解されやすいが、米国リバタリアニズムは自由主義でなく共和主義の伝統に属する。分かりにくい理由は、共同体の空洞化ゆえに、共同体的自己決定を選ぶか否かが、自己決定に委ねられざるを得なくなっているからだ。正義は自由主義の文脈で理解されがちだが、共和主義の文脈で理解し直さねばならない。理解のし直しには、たとえバターンル(上から目線)であれ、共同体回復に向かう方策が必要になる——**宮台真司**それがコミュニタリアンたるサンデルの立場である。

内部告発者になったわけ

平成22年2月28日

サンデープロジェクト

ダイジェスト

患者さんに内緒の 高用量の抗がん剤試験

それは酷いと訴えた裁判の
患者側証人になった

その結果・・・

本日のみなさまとのご縁

患者さんに内緒の 高用量の抗がん剤試験

それは酷いと訴えた裁判の
患者側証人になった

その結果・・・

そして大学医局の中では
内部告発者

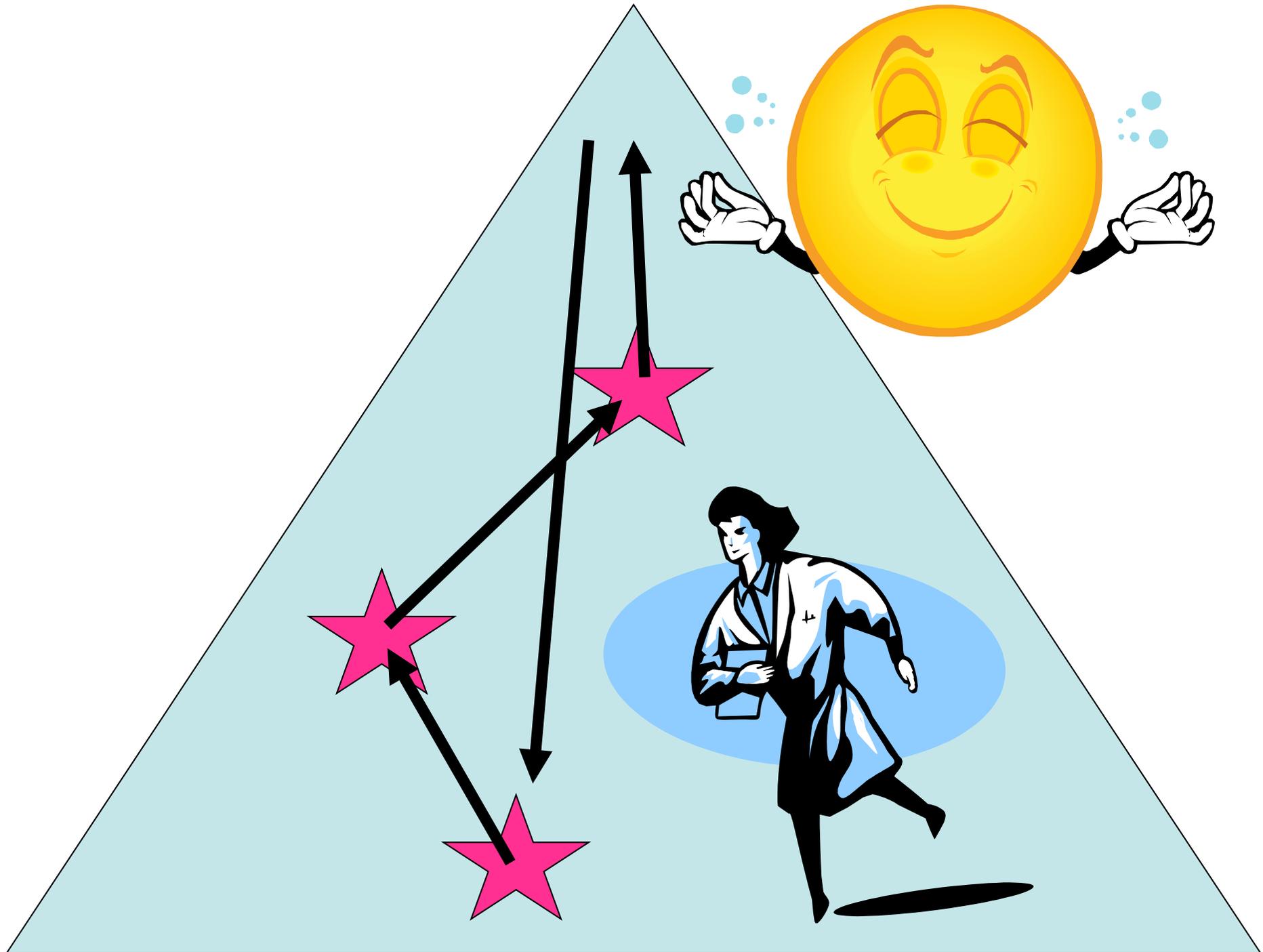
2010.11.1
7

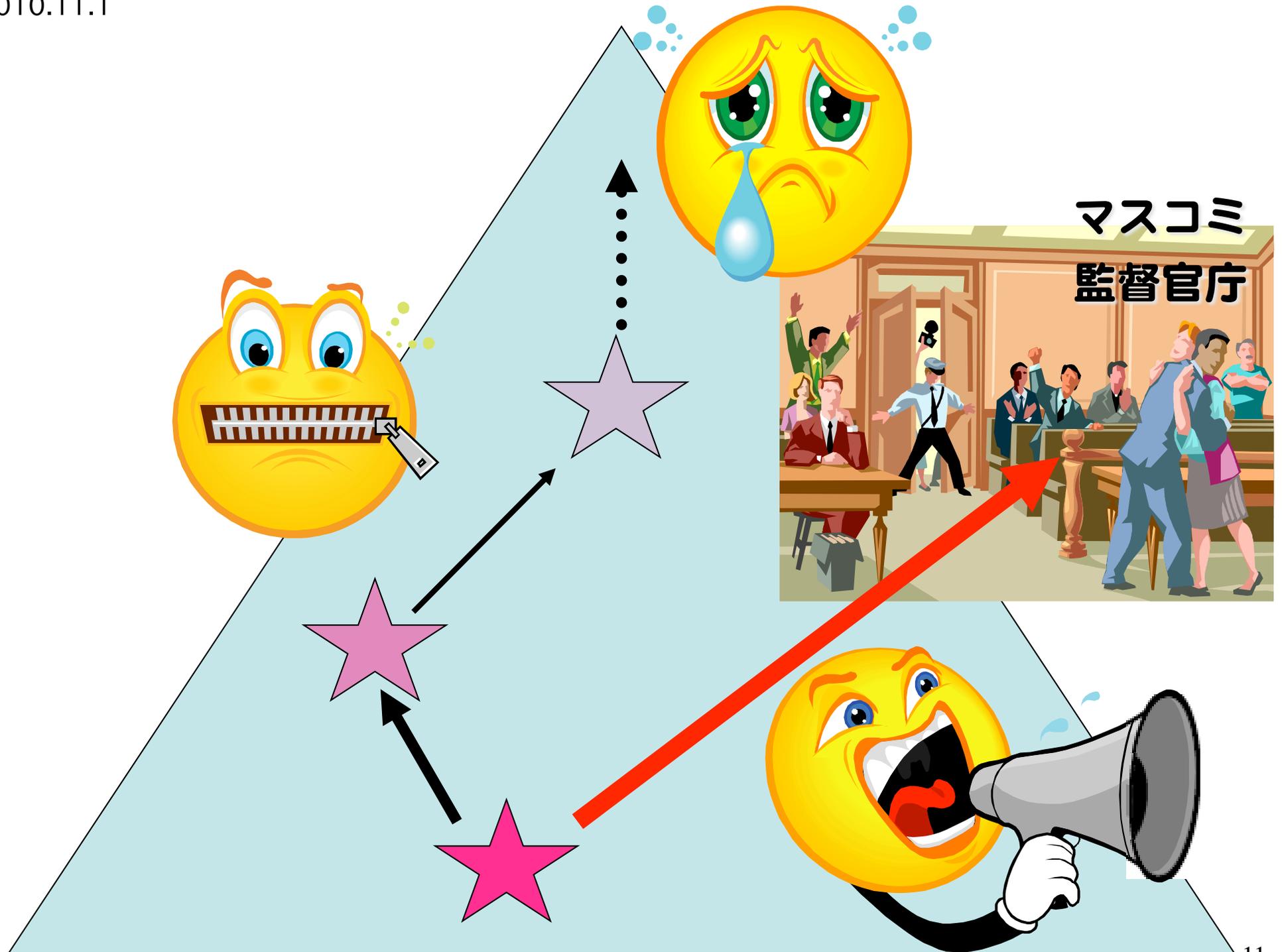




内部告発

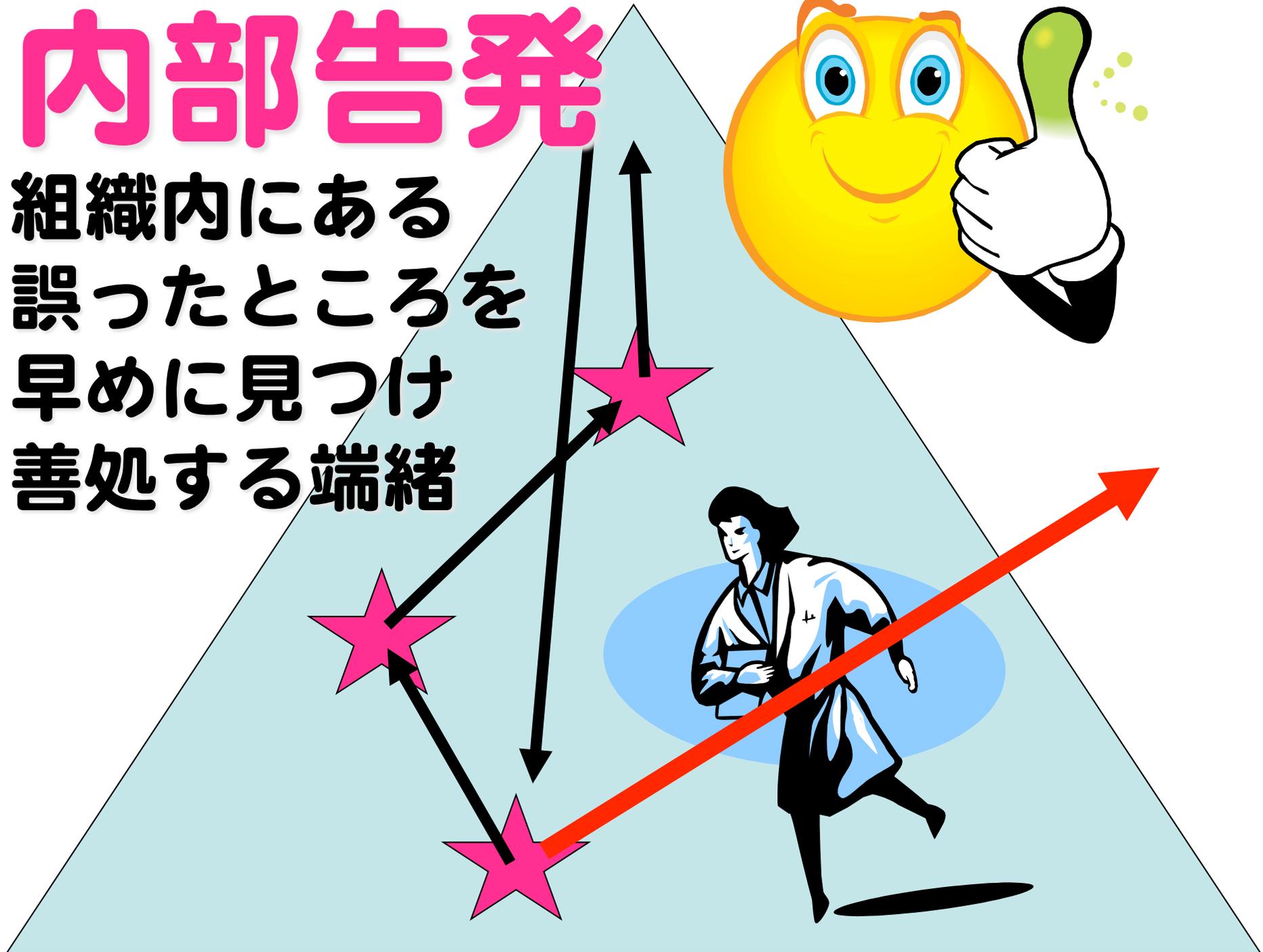






内部告発

組織内にある
誤ったところを
早めに見つけ
善処する端緒





内部告発



Whistle-blower



内部告発

＝

組織と社会を

ま も る

「PERSONS OF THE YEAR 2002」



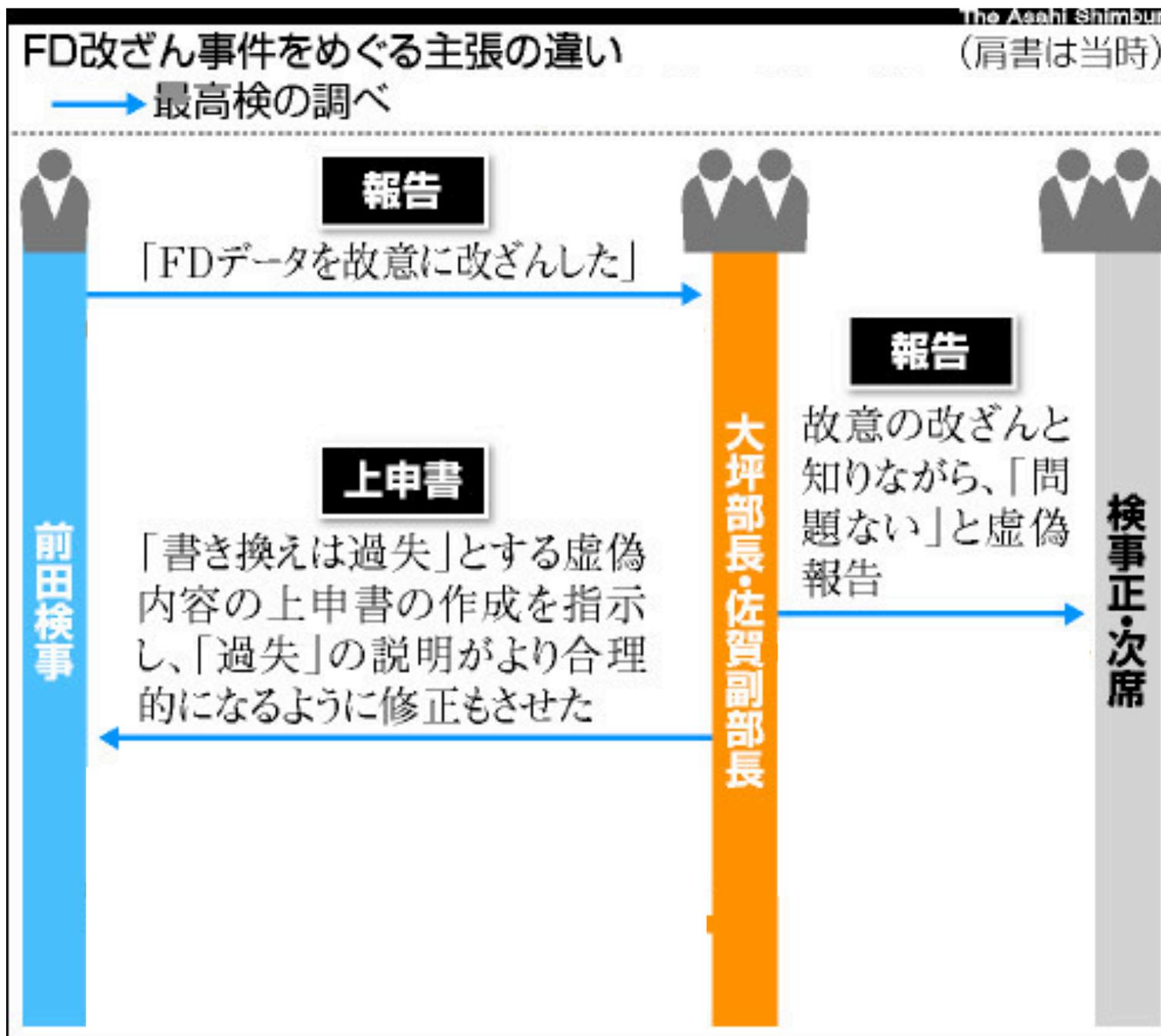
シンシア・クーパー：米大手通信会社ワールドコム会計部門担当副社長で同社の会計不正を「board」へ内部告発した

コリーン・ローリー：ミネアポリス支局法務部長で、米同時テロの事前情報が十分捜査されなかったことを米連邦捜査局（FBI）長官への書簡で内部告発した

シェロン・ワトキンス：エンロン社元副社長で米総合エネルギー大手企業エンロン社の不正な簿外取引を指摘する手紙を会長へ内部告発した

PERSONS OF
THE YEAR
2010





郵便不正事件に絡む証拠改ざん事件で、今年1月末、大阪地検の佐賀元明・前特捜部副部長（現神戸地検特別刑事部長）に証拠品のデータ改ざんを告発した検事は、計4人いたことが分かった。いずれも郵便不正事件の担当で、4人とも佐賀前副部長に「深刻な事態」と訴えたが、翌月、直属の上司にあたる大坪弘道・前特捜部長（現京都地検次席検事）は小林敬検事正に「女性検事が騒いでいるが根拠はない」と報告していた。



<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20100930-00000038-mai-soci>

「PERSONS OF THE YEAR 2002」



シンシア・クーパー：米大手通信会社ワールドコム会計部門担当副社長で同社の会計不正を「board」へ**内部告発**した

コリーン・ローリー：ミネアポリス支局法務部長で、米同時テロの事前情報が十分捜査されなかったことを米連邦捜査局（FBI）長官への書簡で**内部告発**した

シェロン・ワトキンス：エンロン社元副社長で米総合エネルギー大手企業エンロン社の不正な簿外取引を指摘する手紙を会長へ**内部告発**した

2010.11.1

7

PERSONS OF THE YEAR 2010

美女検事

美女検事

「同僚から『潔癖症』と言われるほど、凝り固まった性格だそうです。ただ、彼女は独身なんです。大阪地検のなかでも美女検事として評判ですよ。仕事もバリバリこなし、宮崎地検時代、宮崎県知事を官製談合で逮捕する事件に携わっていた。郵便不正事件では、政治家ルートの捜査にあたり、関係者を事情聴取していました。でも、前田と捜査方針を巡って対立し、特捜部から公判部に飛ばされたんですよ」

ロン毛検事

「グイケメン検事」なんて呼ばれてますよ。前田とはソリが合わなかったようですがね。ただ、彼も過去、さいたま地検熊谷支部で問題を起こしていた。埼玉県警が麻薬密売で逮捕した暴力団組長を取り調べる際、その組長から「所有する拳銃を長男が自主的に提出したことにしてほしい」と持ちかけられたんです。拳銃、銃刀法違反事件を捏造しようとしていた疑いが浮上し、新聞沙汰になったことがあります」(同)

しかし、このような告発がなかったら
どうなっていただろうか・・・

倫理と非倫理

産婦人科領域の倫理問題

生老病死

生老病死

- 出生前診斷
- 胚性幹細胞移植
- 人工妊娠中絕
- 代理母
- 介護
- 臨床試驗
- 尊嚴死

代理母

サロゲート・マザー (Surrogate Mother : SM)

サロガシー (Surrogacy)

依頼者の母親に代わって子供を身ごもり、出産すること。

A. Gestational Surrogacy

Gestational Surrogate Mother (Gestaional Carrier)

(1)依頼夫婦の精子と卵子を使い、体外受精 (IVF) しその受精卵を代理母の子宮に戻す。

(2)依頼夫婦の男性の精子と卵子提供者 (Egg Donor) の卵子を使い、体外受精 (IVF) しその受精卵を代理母の子宮に戻す。

(3)依頼夫婦の女性の卵子と精子バンク (Sperm Bank) の精子を使い、体外受精 (IVF) しその受精卵を代理母の子宮に戻す。

(4)卵子提供者 (Egg Donor) の卵子と精子バンク (Sperm Bank) の精子を使い、体外受精 (IVF) しその受精卵を代理母の子宮に戻す。

B. Traditional Surrogacy

Traditional Surrogate Mother (Traditional Carrier)

(1)依頼夫婦の男性の精子を取り出し、自宅で代理母が自分で子宮に直接注入する

－ Home Insemination

(ホーム・インセミネーション)

(2)依頼夫婦の男性の精子を取り出し、クリニックで医師が子宮に直接注入する

－ Artificial Insemination

(アーティフィシャル・インセミネーション)

2010.11.1

7

代理母



野田聖子氏妊娠 米で体外受精 50歳で出産

[2010年8月26日8時20分 紙面から]

<http://www.nikkansports.com/general/news/p-gn-tp3-20100826-670420.html>

元郵政相の自民党野田聖子衆院議員（49）が妊娠していたことが25日、明らかになった。

米国で今年5月、第3者から卵子提供を受け、同居男性の精子との受精卵を子宮内に移植した。現在、妊娠15週目で、出産は来年2月の予定。出産にこだわり続けた自民党の女性総裁候補が50歳の初産に挑戦する。

今回の米国での体外受精卵移植手術にかかった数百万円の資金は男性が全額負担したという。

体外受精など不妊治療を続け、計14回の体外受精もしたが、1度妊娠したものの流産していた。当時、治療を巡り鶴保氏と大口論となっており、06年12月に関係を解消していた。

野田氏は、夫婦別姓論者で、現在も籍は入れていない。別姓法案成立以降に婚姻届を出すプランを持っており、現行法では結婚はしていないため、このまま出産をすれば“未婚の母”ということになりそうだ。

手記では「『超』も『超』の高齢出産となります。この『おばさん妊婦』を、出産まで温かく見守っていただければ幸いです。何があっても、『それでも私は産みたい』のです」と決意を寄せている。

2010.11.1

7

代理母



野田聖子氏妊娠 米で体外受精 50歳で出産

[2010年8月26日8時20分 紙面から]

<http://www.nikkansports.com/general/news/p-gn-tp3-20100826-670420.html>

A. Gestational Surrogacy

Gestational Surrogate Mother (Gestaional Carrier)

(1)依頼夫婦の精子と卵子を使い、体外受精 (IVF) しその受精卵を代理母の子宮に戻す。

(2) 男性の精子と卵子提供者 (Egg Donor) の卵子を使い、体外受精 (IVF) しその受精卵を**代理母**の子宮に戻す。

(3)依頼夫婦の女性の卵子と精子バンク (Sperm Bank) の精子を使い、体外受精 (IVF) しその受精卵を代理母の子宮に戻す。

(4)卵子提供者 (Egg Donor) の卵子と精子を使い、体外受精 (IVF) しその受精卵を**代理母**の子宮に戻す。

2010.11.1

7

代理母



是か非か

産婦人科領域の倫理問題

臨床試験

臨床研究 clinical research/study

観察研究 observational study

症例報告 case report

ケースシリーズ研究 case series study

ケースコントロール研究 case control study

コホート研究 cohort study

臨床試験 clinical trial = 介入研究 intervention

study

研究者主導臨床試験 investigator-initiated trial

企業主導臨床試験 industry-sponsored trial

- 治験 registration trial

- 市販後臨床試験 PMS trial

一般薬の開発

前臨床研究

研究室環境（細胞培養や動物など）

臨床導入

第1相

健康なボランティア10~100人

エンドポイントは**毒性**

第2相

新薬が治療の対象にしている

病気の患者50~500人

第3相

新薬が治療の対象にしている

病気の患者300~3万人

販売承認

治験

市販後調査

市販後臨床試験

第4相

新薬の全服用者

新しい治療法や**毒性**が発見される可能性

妊婦，小児，高齢者が含まれる

低発現率の有害事象を検出できる。

子宮頸がん予防ワクチン

gsk GlaxoSmithKline グラクソ・スミスクライン株式会社

サイトトップ お問い合わせ allwomen.jp サイトマップ

allwomen.jp

友だちに教える | オンラインブックマークに登録する

allwomen.jp

すべての女性に知ってほしい子宮頸がん情報サイト

「子宮頸がん」ってどんな病気?

子宮頸がんの原因「HPV」

子宮頸がんは「予防できる」がん

よくある質問Q&A

しきゅうのお知らせひろば

GO!

住人募集中!

HOSPITAL

allwomen.jp をご覧のみなさまへ
スペシャルコンテンツ
しきゅうのお知らせひろば
アンケートのお願い

病医院検索
子宮頸がん予防ワクチン
接種が可能なお近くの
医療機関を検索できます。

今すぐ検索

http://allwomen.jp/?gclid=CNLUse_ts6QCFQ-rbwodU1Epyg

2010.11.1

7

子宮頸がん予防ワクチン

是か非か

**米国で2006から
08年にかけて
HPVワクチン接種を
法制化しようとして
していた動きが
頓挫しました**

The NEW ENGLAND JOURNAL *of* MEDICINE

SPECIAL REPORT

**HPV Vaccination Mandates — Lawmaking amid Political
and Scientific Controversy**

James Colgrove, Ph.D., M.P.H., Sara Abiola, J.D., and Michelle M. Mello, J.D., Ph.D.

N ENGL J MED 363;8 NEJM.ORG AUGUST 19, 2010

Table 1. HPV Vaccination-Mandate Bills and Orders in the States, 2006–2008.*

State	Bill or Order No.	Date of Introduction	Date of Last Action	Outcome
Arkansas	SB 954	March 5, 2007	March 27, 2007	Withdrawn by author
California	AB 16	December 4, 2006	September 30, 2008	Transformed into mandate for insurance coverage; passed but vetoed by governor
Colorado	SB 80	January 15, 2007	April 5, 2007	Postponed indefinitely in Senate appropriations committee
Connecticut	HB 6977	January 25, 2007	March 2, 2007	No further action after public hearing
Florida	SB 660	January 18, 2007	May 4, 2007	Referred to Senate health policy committee; no further action
Georgia	SB 155	February 14, 2007	January 14, 2008	Referred to Senate committee on health and human services; no further action
Illinois	SB 10	January 31, 2007	December 3, 2007	Referred to Senate committee on rules; no further action
Kansas	HB 2227	January 25, 2007	January 26, 2007	Referred to House health and human services committee; no further action
Kentucky	HB 345	February 7, 2007	March 1, 2007	Referred to Senate appropriations and revenue committee; no further action
Kentucky	HB 396	January 29, 2008	March 24, 2008	Referred to Senate appropriations and revenue committee; no further action
Maryland	SB 54	January 18, 2007	February 7, 2007	Withdrawn by author
Massachusetts	SB 102	January 10, 2007	February 25, 2008	Referred to joint committee on health care financing; no further action
Michigan	SB 1416	September 12, 2006	November 14, 2006	No further action after House reading
Michigan	SB 132	January 31, 2007	January 31, 2007	Referred to Senate health policy committee; no further action
Minnesota	SF 243	January 25, 2007	January 25, 2007	Referred to Senate health, housing and family security committee; no further action
Mississippi	HB 895	January 12, 2007	January 30, 2007	Referred to House appropriations committee; no further action
Missouri	HB 802	February 7, 2007	April 24, 2007	Voted out of House rules committee; no further action
New Mexico	SB 1174	February 15, 2007	April 6, 2007	Passed, but vetoed by governor
New Mexico	SB 244	January 17, 2008	February 8, 2008	Voted out of Senate judiciary committee; no further action
New York	AB 5810	February 23, 2007	February 23, 2007	Referred to assembly health committee; no further action
Ohio	HB 703	December 12, 2006	December 14, 2006	Referred to House health committee; no further action
Ohio	HB 81	February 28, 2007	March 6, 2007	Referred to House health committee; no further action
Oklahoma	SB 487	February 5, 2007	February 8, 2007	Referred to Senate rules committee; no further action
South Carolina	HB 3136	January 9, 2007	April 18, 2007	Died on House floor
Texas	RP 65	February 2, 2007	May 8, 2007	Executive Order 65 issued by governor but overridden by HB 1098
Texas	SB 110	January 29, 2007	April 25, 2007	Referred to House committee on public health; no further action
Vermont	SB 139	February 26, 2007	February 27, 2007	Referred to Senate health and welfare committee; no further action
Virginia	HB 2035	January 10, 2007	April 4, 2007	Passed and signed into law, with liberal opt-out provision recommended by governor added
Washington, DC	DC B30	January 9, 2007	July 12, 2007	Passed and signed into law
West Virginia	HB 2835	February 5, 2007	February 5, 2007	Referred to House health and human resources committee; no further action

* Data are from StateNet Full Text of Bills, All States, 2006, 2007, and 2008. Information on the status of legislation is also available from the National Conference of State Legislatures at www.ncsl.org.

Table 1. HPV Vaccination-Mandate Bills and Orders in the States, 2006–2008.*

State	Bill or Order No.	Date of Introduction	Date of Last Action	Outcome
Arkansas	SB 954	March 5, 2007	March 27, 2007	<u>Withdrawn by author</u>
California	AB 16	December 4, 2006	September 30, 2008	Transformed into mandate for insurance coverage; passed but vetoed by governor
Colorado	SB 80	January 15, 2007	April 5, 2007	Postponed indefinitely in Senate appropriations committee
Connecticut	HB 6977	January 25, 2007	March 2, 2007	<u>No further action</u> after public hearing
Florida	SB 660	January 18, 2007	May 4, 2007	Referred to Senate health policy committee; <u>no further action</u>
Georgia	SB 155	February 14, 2007	January 14, 2008	Referred to Senate committee on health and human services; <u>no further action</u>
Illinois	SB 10	January 31, 2007	December 3, 2007	Referred to Senate committee on rules; <u>no further action</u>
Kansas	HB 2227	January 25, 2007	January 26, 2007	Referred to House health and human services committee; <u>no further action</u>
Kentucky	HB 345	February 7, 2007	March 1, 2007	Referred to Senate appropriations and revenue committee; <u>no further action</u>
Kentucky	HB 396	January 29, 2008	March 24, 2008	Referred to Senate appropriations and revenue committee; <u>no further action</u>
Maryland	SB 54	January 18, 2007	February 7, 2007	<u>Withdrawn by author</u>
Massachusetts	SB 102	January 10, 2007	February 25, 2008	Referred to joint committee on health care financing; <u>no further action</u>

米国で2006から08年にかけてHPVワクチン接種を法制化しようとしていた動きが頓挫した

その理由

- (1) このワクチンは発売されてすぐの副作用もハッキリしないワクチンである**
- (2) 性交渉を前提とするワクチンであり、これを幼い子供に打つ際のICにおいて、色々と倫理的にも問題が起る**
- (3) 性交渉以外では移らないウイルスのワクチンを、学校で集団接種する意味が見いだせない**
- (4) HPVワクチンの他に、打つべきワクチンがある**
- (5) 従ってHPVワクチンにまで公的医療費が回りにくい**
- (6) 製薬メーカーのロビー活動が目にあふ**

子宮頸がん予防ワクチン キャンペーンの「危うさ」



グラクソ・スミスクライン株式会社

[サイトトップ](#) [お問い合わせ](#) [allwomen.jpサイトマップ](#)

allwomen.jp

| 友だちに教える | オンラインブックマークに登録する

allwomen.jp
すべての女性に知ってほしい
子宮頸がん情報サイト

「子宮頸がん」って
どんな病気?

子宮頸がんの原因
「HPV」

子宮頸がんは
「予防できる」がん

よくある質問Q&A

しきゅうのお知らせ
ひろば

GO!

住人募集集中!

HOSPITAL

allwomen.jp をご覧のみなさまへ
スペシャルコンテンツ
しきゅうのお知らせひろば
アンケートのお願い

病医院検索
子宮頸がん予防ワクチン
接種が可能なお近くの
医療機関を検索できます。

今すぐ検索

http://allwomen.jp/?gclid=CNLUse_ts6QCFQ-rbwodU1Epyg



現役産婦人科医が警鐘

子宮頸がん予防ワクチン キャンパインの「危うさ」



金沢医科大学産婦人科准教授

笹川寿之

理解は、ご
い理由を、
心」と言えな
さえずれば安
クチンを打ち
かれません。
がん検査が欠
がんです。

金沢大学附属産婦人科准教授

打出喜義

期的な子宮頸
がん検査が欠
かれません。
クチンを打ち
かれません。
がん検査が欠
がんです。

とです。11~13歳の女子に接種がすすめられる理由は、性交渉を未経験のうちのほうが効果的だからです。6歳くらいまでなら多少のメリットはありますが、年齢が高くなるほど効果は限定的であり、すでに免疫ができてい人もいますので、接種が無駄になることもあります。また、40歳以上で発生する子宮頸がんの3~5割はこのワクチン接種でも予防できないタイプの子宮頸がんの原因があります。したがって、子宮頸がんを予防するために必要な検査は、定期的な子宮頸がん検査が欠かせません。クチンを打ちさえすれば安心」と言えない理由を、ご理解ください。

たのではないでしようか。ワクチンを打ったことで、「もう安心」と誤解して検査を受けない人が増えるとかえって子宮頸がん患者を増やすことにもなりかねないのです。そうした誤解が広がらないためには、避けなければなりません。このサーバリックスは、十分な免疫を獲得するために、半年間で3回接種する必要があります。接種費用などを合計して5万~6万円かかります。保険は利きませんが、全額自己負担です。これを公費負担で11~13歳の女子全員に接種するとなると、概算で毎年二億数千億円規模の国家予算が必要となるでしょう。

つまり、効果を検証中だからこそ、公費負担にしていると考えられます。ところが日本では、子宮頸がん検査受診率は20%程度にすぎません。特に20歳代の若い女性の受診率は低く、1割以下しか受けていないのです。子宮頸がん死を減らすためには、まず、がん検査普及に真摯に取り組むべきなのに、それをせずに女性への予防ワクチンだけに巨費をかけるのは、おかしい話です。日PVを世界で初めて特定し、ノーベル賞を受賞したドイツのツアハウゼン博士は、次のような指摘をしています。日PVは性交渉でうつるのですから、日PVの蔓延を防ぎたいなら、男性にもワクチン接種すべきだといふのです。報告されている副作用のほとんどは軽微なものばかりですが、やはりこのワクチンにも、ギラン・バレー症候群（四肢の筋肉に力が入らなくなる病気）、血球減少症など重篤なケースが報

告されています。日PV感染は男性にも責任があるのに、女性だけに負担やリスクをかけるのもいのかを考慮する必要もあります。毎年、1万人以上が子宮頸がんが亡くなって、約3500人が亡くなっています。検査を受けずに進行してから見つかる子宮頸がんを治療しなければならず、膀胱障害やリンパ浮腫などつらい後遺症が残ることもあります。特に、若い女性にとっては、子どもが産めなくなってしまう恐れがあります。

昨年、子宮頸がんの予防ワクチンが発売された。そして、今年に入って接種費用の公費助成を求めて、がん専門医やタレントを動員したキャンペーンが展開されている。だが、このワクチンで100%がんを予防できるわけではない。万端であるかのような誤解を広めかねない現状に、2人の産婦人科医が警鐘を鳴らす。

「V」研究や予防ワクチン開発に取組んでいた専門家である飯川に呼びかけ、現在の報道やキャンペーンに苦言を呈したいと書いた次第です。誤解してはくれないのですが、私たちは予防ワクチンの普及や公費助成に反対しているわけではありませぬ。むしろ、必要な人にはぜひワクチン接種してほしいと思っています。しかし、このワクチンを普及させようとするあまり、いい面ばかりが強調され、予防効果の限界など、知っておくべき正確な情報が伝わっていないように感じます。「子宮頸がんはワクチンで予防できる」といった表現が、「ワクチンを打ちさえすれば安心」と受け止められ

の日PVで、サーバリックスは、この二つの型に対するワクチンです。日PVに感染しても、大半の人は、自分の免疫でウイルスが消滅します。10人に1人程度は感染した状態が続き、「前がん病変」になります。これが大半の人が自然に治り、がんになる人はそのうちの約1割程度です。しかし、子宮頸がん患者では約6割が16型か18型に感染しており、飯川が大府立成人病センターと共同で行った研究では、20歳代は9割、30歳代では8割がそうでした。16型と18型のウイルスに感染していない15~25歳の女性を対象とした臨床試験では、7~5年間の追跡で16型と18型による「前がん病変」発生率は100%に達しました。このワクチンの有効性が極めて高いのは間違いないです。ただし、知っておいてほしいのは、すでにウイルスに感染している人には、ワクチンは効かないというこ



このミニコミ誌はボランティアグループ「クレイリエール」が発行しています。

■ CLAIRIÈRE ■

2010年 7月号

No.514

毎月発行 2000部

発行元/クレイリエール*

連絡先*代表者宛 FAX:0463-81-5385

郵送先:〒257-0054 新野市榎町16-3

新野市保健福祉センター内 新野市社会福祉協議会

はだのボランティアセンター発行・クレイリエール

子宮頸がん予防ワクチンキャンペーンの「危うさ」



金沢大学付属病院産婦人科 打出 喜義 (医師)

2010年4月16日号の「週刊朝日」に『“現役産婦人科医が警鐘 子宮頸がん予防ワクチンキャンペーンの「危うさ」”』という記事が載りました。私と金沢医科大学産婦人科准教授の笹川寿之さんとの連名記事です。

この記事が掲載されることになったきっかけは、とあるMLに、朝日新聞論説委員だった大熊由紀子さんが次のような投稿をなさったからでした。

り、「サーバリックス」も「ガーダシル」も、たくさん型のあるHPVのうち、一部の特定の型に対するワクチンなのです。厳密に言うとなれば、HPVによる子宮頸がんを完全に予防するワクチンではない、そこで「子宮頸がん予防ワクチンと称されているもの」という表現を使ったのです。

HPVには100種類以上もの型があり、発がん性の高いものから低いものまで、それぞれの型によってさまざまです。HPVの16型、18型が子宮の頸部に感染すると子宮頸がんとなるリスクが高まります。6型、11型

2010.11.1

7

子宮頸がん予防ワクチン

是か非か

一般薬の開発

前臨床研究

研究室環境（細胞培養や動物など）

臨床導入

第1相

健康なボランティア10~100人
エンドポイントは毒性

第2相

新薬が治療の対象にしている
病気の患者50~500人

第3相

新薬が治療の対象にしている
病気の患者300~3万人

治験

販売承認

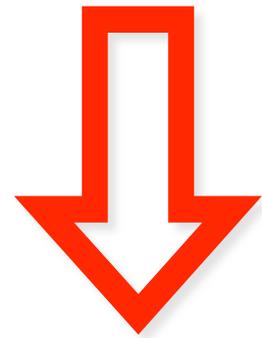
市販後調査
市販後臨床試験

第4相

新薬の全服用者

新しい治療法や**毒性**が発見される可能性
妊婦，小児，高齢者が含まれる
低発現率の有害事象を検出できる。

子宮頸がん予防ワクチン



臨床試験

十全の「I・C」が必須

2010.11.1

⁷<http://www.yuki-enishi.com/>

ゆき. えにしネット

インフォームド・コンセントの部屋



「現場に学ぶ医療福祉倫理」

「医療を変える・福祉を変える・現場から変える」
公開講座2010年後期乃木坂スクール



産婦人科領域の 倫理と非倫理 内部告発という名の ボランティア

金沢大学附属病院産婦人科 打出 喜義



- 1章 ボランティアするのは楽しい、
されるのは気が重い
- 2章 真のボランティアは、
自分がボランティアと気づいていない
- 3章 ボランティアは、
法律を超える、制度を超える
- 4章 ボランティアは、
伝染する
- 5章 ボランティアがつなぐと、
社会が変わる

2010.11.1

7

ご清聴ありがとうございました